



WAKAMIYA CHIYODA

MAEBASHI, GUNMA, JAPAN

FM GUNMAは1985年の開局以来、前橋市若宮町を拠点に放送をお届けしてきましたが、総務省策定の「周波数再編アクションプラン」により本社と牛伏山送信所を結ぶ周波数帯移行の必要が生じたため新社屋建設により対応します。ぐんまを笑顔・元気にするための新たな情報発信・交流拠点として、地域貢献事業に積極的に取り組み隣接するしのめ信用金庫前橋営業部とも連携し、地域活性化推進にも取り組んでまいります。

fm gunma ^{86.3}

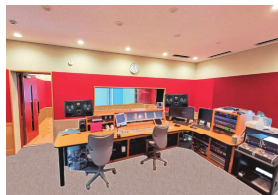
住所●前橋市千代田町2-3-1 構造●鉄筋コンクリート造地上4階建て、鉄塔有 土地面積●1,189.46㎡ 建物面積●1,528.06㎡

STUDIO

スタジオコンセプト『上毛三山』+『谷川岳』

群馬を象徴する『上毛三山』の様に県民に親しまれ、存在感ある民放ラジオ局であり続けたいという思いをこめて、生放送や収録等に使う3つのスタジオは『上毛三山』をコンセプトにカラーや愛称を設定、またニューススタジオは、常に情報に“耳を立てる”べく、猫耳の様な2つの頂を持つ『谷川岳』にちなんだ愛称としました。サブ（副調整室）には新たなデジタルミキシングコンソール等の機材も導入、多様なコンテンツを発信していきます。

AKAGIスタジオ (第1スタジオ)



AKAGI

赤城山の裾野の如く横幅がありゲストの生演奏等にも対応可能。主に生放送用のメインスタジオ。

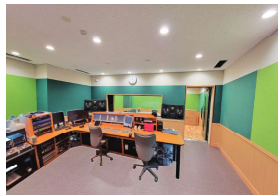
HARUNAスタジオ (第2スタジオ)



HARUNA

広場まで見通せる眺望の良いスタジオ。生放送や収録など多目的に使用。

MYOGIスタジオ (第4スタジオ)



MYOGI

大人数の収録にも対応可能な広めのアナブースが特徴のスタジオ。

TANIGAWAスタジオ (第3スタジオ、ニューススタジオ)



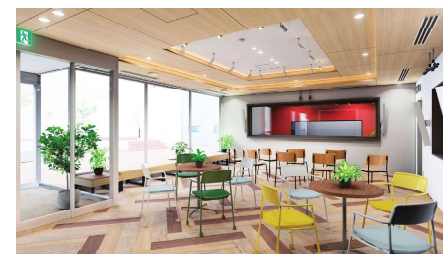
TANIGAWA

ニュース、天気予報などのワンマン放送、収録も可能なスタジオ。

CLUB AIR

オープンスタジオ クラブエア

長年リスナーに親しまれてきたオープンスタジオ CLUB AIR (クラブエア) の名称を引き継いで新たなリスナースペースに生まれ変わりました。広場に向かい大きく開かれたカフェ風の空間から2つのスタジオが観覧できます。公開生放送や広場と連動したイベントなどにも対応可能です。



← LOUNGE

ラウンジ

局舎内に打ち合わせやブレイクタイムなど多目的に活用できるラウンジを設置しました。木質感あふれる空間で、可動式の間仕切りを開ければ、隣接する会議室と一体的に利用することも可能です。



デスク & クリエイティブルーム

複数のスタジオや控室等に直結され、多様な情報やニュース、リスナーメッセージ等を集約してスムーズに放送に反映するための拠点となる部屋です。様々な情報端末等を備えています。



バリアフリー

局舎の入口には車いすに対応したスロープやバリアフリー対応の駐車場を設置しました。1階から3階までの全階とクラブエアには誰でも利用可能なバリアフリートイレを設置しています。



省エネ・セキュリティ

電気設備や空調設備を一元管理し、照明設備は全てLEDを採用、空調の効率化を図るなど省エネにも配慮しています。防犯カメラや電子錠、機械警備などセキュリティ面にも力を入れています。

→ 前橋市若宮町の局舎について



1985年の開局以来、FM GUNMAの拠点として長年にわたり放送をお届けしてきた局舎です。開局当初は7階のスタジオから放送をお届けしていましたが、1995年には1階にリスナーが観覧可能なオープンスタジオ「CLUB AIR (クラブエア)」を開設。スタジオの壁をスライドさせて開放することにより、スタジオと客席を一体利用できる機能を備え、数多くのゲストを招いて公開生放送や収録、ミニライブなどを実施してきました。開局からリスナーと共に築いてまいりましたFM GUNMAの歴史は、新社屋へと受け継がれていきます。

→ 前橋市アーバンデザインとGreen&Relax構想への取り組み



まちづくり指針「前橋市アーバンデザイン」に示された「賑わいの拠点」をつなぐ複数路線の中継地として、エフエム群馬、しのめ信用金庫、広場へ歩行者を誘う配置となっています。また植栽による緑化と、グリーンを引き立てる外壁・外構等を採用しています。地域とのつながりを大切に、前橋中心部の新たな都市形成への貢献を目指します。

防災対策・レジリエンス

耐震耐火性に優れた鉄筋コンクリート造の新社屋には、緊急時、災害時の放送や業務継続のためのUPS(無停電電源装置)を2台導入。自家発電装置の容量は前社屋より増力しました。ネットワークの幹線ケーブルも二重化しています。また水害対策として入口に止水板を備え、万の1階浸水時も3階スタジオからの放送継続が可能です。

新たな防災速報システム

地震や気象警報などの情報をいち早く伝えるため、情報を音声化して自動的に割込放送する防災音声合成装置を新たに導入します。